

実施した交流プログラムの概要

**学内11部局において、コンソーシアム加盟17大学との間で
派遣・受入プログラムを展開**

- ✓ 交換留学プログラム
- ✓ 短期留学プログラム
- ✓ ダブル・ディグリープログラム
- ✓ SENDプログラム
- ✓ 遠隔授業
- ✓ 本学アセアンセンターを活用してのワークショップ 等



のべ538名を派遣，402名を受入 （2016年9月末時点）



**発展し続ける日-ASEAN関係において、様々な分野で活躍し
得る人材：「日本ASEANリテラシーを重視した実務型リー
ダー」を輩出**

実績

		H24	H25	H26	H27	H28
派遣学生数	3か月未満	10	127	115	123	108
	3か月以上	7	12	12	12	12
受入学生数	3か月未満	8	69	83	80	64
	3か月以上	2	17	32	31	16

*H28年度については9月末時点での実績。

質の保証を伴った交流枠組み(相互単位認定, 共同学位プログラム等)の形成

- ・ 本事業に関連して実施するプログラムは, そのほとんどにおいて, コンソーシアム加盟大学との協定に基づき相互に単位を認定。
- ・ 一方で, 1単位当たりの修業時間やコンテンツ等詳細についての共有化については完了できなかった。



【継続課題】

- ・ シラバスの英語化
- ・ コンソーシアム加盟大学と本学とのカリキュラムの同等性の検証



H28年度採択事業において, タマサート大学とのダブルディグリープログラムをH29年度から実施予定である他, ラオス国立大学との相互単位認定を伴う学生交流プログラムを予定している等, 取組を継続。

プログラム参加後の学生のフォローアップ・出口対策

- プログラム参加後の学生同士の交流については、学生同士によるSNS等のツールを介した情報交換コミュニティが形成されるケースはあるが、プログラム実施部局の誘導によるコミュニティの設置にまでは至っていない。
⇒今後取り組むべき課題の一つ。
- 本事業におけるプログラムに参加して東南アジア諸国への留学を果たした学生で、日本と東南アジアの架け橋となる職業を志望し、これを実現させる者も増えている。
(具体例はこちら)

<http://www.meiji.ac.jp/cip/aseancenter/program/pdf/2016sugiyama.pdf>

情報の発信・成果の普及

明治大学情報コミュニケーション学部による「2016年度アセアン短期学生交流プログラム」に参加



1. いつ日本語を勉強し始めましたか？

私は大学一年生の時に勉強を始めました。

2. なぜ日本へ行こうと思いましたか？

日本は色々な分野で発展をしているので、誰でも日本に行きたいです。そして、私は日本に行って、日本時と勉強し、毎日日本語を使ったら、日本語が上手になると思いました。また、私は他の人から聞いていた日本語の続きを読む (日本語) (ラオス語)

Lance David Ambrocio, Major in Landscape Architecture,
University of the Philippines Diliman(フィリピン大学ディリマン校)
明治大学日本語教育センター「短期日本語研修(2015年度冬期)」に参加



My name is Lance David Ambrocio, an undergraduate student from College of Architecture in the University of the Philippines Diliman, up Landscape Architecture. I had the most exciting opportunity to part of Meiji University's Japanese Language Winter Program last February. The two weeks program may seem short, but it was jam-packed with amazing experiences that I will never forget ...

続きを読む (英語) (タガログ語)

Dewi Erita, Public Health Faculty, University of Indonesia
インドネシア大学公衆衛生学部
明治大学日本語教育センター「短期日本語研修(2015年度冬期)」に参加



Q1. The reason/purpose of studying in Japan

Japan is the dream country for many adolescent and young adult in Indonesia. For student, there are many colleges which can execute research with high technology. It also provides scholarship too. I have been in Japan since junior high school from Detective Conan manga. ...

続きを読む (英語) (インドネシア語)

既存の本学HPでの周知のみならず、本事業特設HPで、本事業におけるプログラムに参加した学生の「声」を多言語で発信。

<http://www.meiji.ac.jp/cip/aseancenter/program/voices.html>

【課題】

- 特に受入プログラムにおいて、経済的な事情で日本への留学を躊躇するASEAN地域の学生に、いかにして留学機会を提供できるか。
- 特に派遣プログラムに関して、いかにして留学に関する情報を、学生、特に「中間層」に確実にかつ迅速に届けるか＝学生の耳目を引くか。

今後の展開

- 本事業に関連して設置された各プログラムは、事業補助終了後も継続して設置＝「レギュラーメニュー」化することが前提。
- 加えて一部プログラムについては、この度新たに採択された『世界展開力強化事業～アジア諸国等との大学間交流の枠組み強化～』での取組において、さらに内容を充実・発展させて実施。



日-ASEAN関係の一層の発展に、様々な分野で寄与できる人材：「日本ASEANリテラシーを重視した実務型リーダー」を継続して輩出